

平成24年度市民評価委員会評価結果一覧表(教育文化・自立協働・計画の推進部会)

事業名	部局名	課所名	番号	実施日時
近代化産業遺産保存活用事業	企画部	別子銅山文化遺産課	2257-1	第1回 9/24(月)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	新居浜市の貴重な財産である近代化産業遺産を、広く市民に知ってもらう工夫をするとともに、適切に保存・活用できるよう、引き続き事業を継続していただきたい。			
他意見	小中学校の遠足や生涯学習事業の講座を組むなどして、現場を見てもらう機会を作ってほしい。			
質疑	○他の山田社宅は今後どうするのか？ ○山田社宅の利用者数は？			
国民体育大会開催対策事業	教育委員会事務局	スポーツ文化課	10455-1	第1回 9/24(月)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	市民・企業・各種団体と連携を図りながら、国体の成功に向けて、引き続き事業を継続していただきたい。			
他意見	過去国体に参加した際には、市民の方々の温かい出迎えがあったので、そういった体制をこれから作っていかなければならない。			
質疑	○新居浜市には、何人くらい来る予定なのか？ ○県下の開催状況は？			
総合文化施設建設推進事業	企画部	総合文化施設準備室	2425-1	第1回 9/24(月)
◇ 自己評価結果	重点化する			
◆ 市民評価委員会結果	重点化する			
総括	平成26年度の開館に向けて、運営体制や事業計画等、十分な協議を行った上で早急に決定し、多くの市民に望まれるような施設運営が出来るよう、重点化して取り組んでいただきたい。			
他意見	賛成した人も反対した人も、この後どうなるのか、金額に見合ったことをしているのかということに関心を持っているので、それに答えられるような、市民が何度でも足を運べるような施設運営をしてもらいたい。			
質疑	○分析で、市民要望が適切に把握されているか、時期を得ているかは、どのように判断されたのか？ ○小劇場と文化センターとのすみ分けはどのように考えているのか？			
総合文化施設建設事業	企画部	総合文化施設準備室	2427-1	第1回 9/24(月)
◇ 自己評価結果	重点化する			
◆ 市民評価委員会結果	重点化する			
総括	多くの市民が関心を持っており、平成26年度の開館に向けて、予定工期内に工事が完了できるよう、重点化して取り組んでいただきたい。			
他意見	議会を含めて、きちんとステップを踏んだ上で政策決定したことなので、市民に理解を求めながら建設に向けて取り組んでもらいたい。			
質疑	○文化センターの代わりとなる、もっと大きな施設を作る計画はなかったのか？ ○今の郷土美術館はどうなるのか？			

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
笑顔甲子園事業		企画部	総合政策課	2440-1	第1回	9/24(月)
◇ 自己評価結果	手段を改善する					
◆ 市民評価委員会結果	手段を改善する					
総括	高校生の参加協力や実行委員会形式も視野に入れ、この大会が5年10年と継続していけるよう、手段を改善して取り組んでいただきたい。					
他意見	新居浜市に来た高校生が民泊をしたり、新居浜市の予選で落ちた高校生と、コミュニケーションがとれるような取組をしていけばいいのでは。					
質疑	○新居浜市の高校で、落研のような部活動はあるのか？ ○市民ネットワークや関係機関との協働とあるが、去年今年と、そういった力を借りたのか？					
地域療育推進事業		教育委員会事務局	発達支援課	10433-5	第2回	9/26(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	施設を作ることは難しいと思うので、障がいや発達課題のある子供たちが、十分な療育支援が受けられるよう、療育サービスの質の向上を図り、事業を継続していただきたい。					
他意見	新居浜市にも、療育のための通園施設が出来ることを希望したい。					
質疑	○新居浜市の療育施設は、具体的にどれくらい不足しているのか？ ○他市がこれだけ進んでいるのに、新居浜市は何でこんなに遅れているのか？					
緊急雇用学校図書館支援推進事業		教育委員会事務局	図書館	10448-1	第2回	9/26(水)
◇ 自己評価結果	手段を改善する					
◆ 市民評価委員会結果	重点化する					
総括	限られた人数で、努力しているのは理解できるが、27校で4人はあまりにも少ないと感じる。学校図書館をもっと活用できるよう、充実させるために重点化していただきたい。					
他意見	昨年、重点化するとの要望だったか、結果は手段を改善するとなった。せっかく市民評価委員会で評価をしても、何も変わってないのが残念だ。とりあえず、市民の意見を聞いたよということに我々が使われているようで面白くない。					
質疑	○支援員は各学校を回っているのか？ ○昔は、各学校に図書館司書がいたと思うが？					
不登校対策ネットワーク研究事業		教育委員会事務局	学校教育課	10329-2	第2回	9/26(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	学校やあすなる教室と、連携・協力しながら、不登校児童生徒の減少に向けて、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	あすなる教室にも来られない児童生徒の推移がどうなのか、そこに視点を当てて、成果指標で表すことができればと思う。					
質疑	○不登校児童生徒は減少傾向にあるのか？ ○訪問相談員の効果は？					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
高齢者生きがい創造学園講座開設等		教育委員会事務局	社会教育課	10277-1	第2回	9/26(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	高齢者が共に学ぶ喜びを共有し、生きがいを見いだせる学習の場を提供するとともに、学習活動を通して、ボランティアや地域の活動に繋がるよう、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○講座の受講者数やサークルの参加者数の推移は？ ○生涯学習センターと重複している部分の整理は？					
新しい公民館創造プロジェクト事業		教育委員会事務局	社会教育課	10429-2	第2回	9/26(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	各地域の実態に応じた、また住民のニーズに合った事業展開が、地域主導で行えるよう支援するとともに、地域主導型公民館の運営に求められる組織・体制の確立に向けて、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○18公民館全て、地域主導型公民館に移行したのか？ ○以前とどう変わったのか、各館の違いは？					
救助隊員資格取得		消防本部	総務警防課	9033-1	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	市民の安心・安全を守るため、各種災害現場において、安全・確実・迅速な活動を行うためにも、計画的に有資格者を増やしていけるよう、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	予算を増やして、資格取得のスピードアップを図るべきでは。					
質疑	○消防職員の総数と、その内何人が資格を持っていないか？ ○新居浜市の人口規模で、どのくらいの救助体制が必要か？基準は？					
緊急震災対策事業		市民部	防災安全課	2446-1	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	新居浜市においても、南海トラフを震源とする被害が想定される中、災害に強いまちづくりが進むよう、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○活動指標の中の分散備蓄品一式とは？ ○標高掲示板を付けることが効果的なのか？優先順位としてどうなのか？					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
配偶者暴力相談支援センター設立準備事業		市民部	男女共同参画課	3467-3	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	重点化する					
◆ 市民評価委員会結果	重点化する					
総括	県下に先駆けた前向きな取り組みを高く評価します。今後も、DV被害者をより迅速に、きめ細やかに、継続して支援できるよう、配偶者暴力相談支援センターの設置に向け、重点化して取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○新居浜市のDVへの取組は？ ○近隣市町からの相談状況は？					
人権啓発推進事業		市民部	人権擁護課	3419-1	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	他人を思いやる豊かな心を育むため、差別をしない、させない郷土づくりを目指し、人権尊重の学習・啓発に継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○県の委託事業ということだが、新居浜市が積極的に手を挙げて利用したのか？ ○効果の表れにくい事業だが、何か効果を感じることはあるか？					
友好都市等交流事業		市民部	市民活動推進課	2263-1	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	相互訪問を継続していくことで、行政だけの交流ではなく、民間レベルでの交流、また、学生同士の交流に繋げていただくとともに、今後も両市が友好的に発展できるよう、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	学生同士の交流が進んでいけば、この事業の目的も生きてくるので進めてほしい。					
質疑	○訪中団員7名の内訳は？ ○今後、訪中団を民間主体にしていくのか？					